

からふる

平成30年11月 秋号
発行：千歳市教育委員会



「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

コミュニティ・スクールの取組

～地域とともにある学校づくりを目指して～

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。子どもや学校が抱える課題の解決や子どもたちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりによる教育を実現**していく必要があります。子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という**目標やビジョンを共有することが重要**です。

千歳市教育委員会では、学校と地域住民等が目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育てる「**地域とともにある学校**」づくりを進める「**コミュニティ・スクール**」を導入していくこととしました。

なぜ「地域とともにある学校」が必要なの？

千歳市での導入状況 ～市内3校で導入！～

コミュニティ・スクールを推進するにあたり、各学校において保護者や地域の方などが委員となり構成する「**学校運営協議会**」を設置する必要があります。平成29年1月には、コミュニティ・スクールにかかわる調査研究校として、**高台小学校**、**青葉中学校**、**駒里小中学校**の3校を指定し、コミュニティ・スクールの導入の在り方や充実・改善に関する調査研究を行いました。平成30年2月には、「**千歳市学校運営協議会規則**」を制定し、千歳市としての**コミュニティ・スクール**の推進のために必要な事項を定め、学校への支援を行っています。

調査研究校の3校については、現在、学校運営協議会を設置し、保護者や地域の方が学校運営協議会委員として学校の運営にかかわり、本格的にコミュニティ・スクールの推進を図っています。

今後、学校運営協議会設置校の取組を参考にしながら、準備の整った学校から順次、学校運営協議会を設置していきます。

コミュニティ・スクール
イメージ



学校運営協議会設置校はどのような取組みをしているの？

高台小学校、青葉中学校、駒里小中学校では、平成 29 年から調査研究校としてコミュニティ・スクールの在り方や充実・改善に関する調査研究を行ってきました。平成 30 年度に正式に学校運営協議会を設置し、保護者や地域の方を委員として迎え「地域とともにある学校」づくりに向けたさまざまな取組を行っています。ここでは、その一部を紹介します。

高台小学校

- ミシン授業の学習支援として、町内会から 6～7 人が来校し、各グループに 1 人ずつサポートに入ってくれました。
- 1 年生の昔遊び体験では、20 人ほどの地域の方と児童が昔遊びを通して触れ合いながら、楽しみました。
- 放課後計算塾では、丸付けなどの採点業務をしていただき、その間教師は指導に専念できました。



青葉中学校

- 家庭学習ボランティアの取組では、毎日地域の方に家庭学習の点検をしてもらうことで、学習内容を知って頂くいい機会になりました。
- ゴミバスターズクラブの取組では、保育所も参加し、生徒が幼児に教えながらゴミ拾いの活動ができました。
- 避難所運営訓練は、今後、総合的な学習の中で、3 町内会に 3 年に 1 度ずつ関わって頂き、続けていきたいと考えています。



駒里小中学校

- 駒里連合会や未来の駒里を考える会も学校運営に参加してもらう予定です。
- 以前から、小中学校の運動会、学芸会などに保育所も参加し、幼・小・中は連携以上に一体化していることから、学校の取組に対する地域の支援は手厚いものとなっています。



愛の鐘が鳴る前に自主的に帰宅する習慣を身につけよう！

夕暮れどきに毎日放送されるメロディー。子どもたちに帰宅時刻を知らせる「愛の鐘」と呼ばれるものです。昭和 56 年の防災行政無線の設置開始時に運用が始まり、これまでに 5 度の放送時刻変更を経て、現在の放送時刻になっています。

夕暮れどきに「愛の鐘」が鳴ると、公園などでは子どもたちから「さあ、鐘が鳴ったから帰ろう！」といった声が聞こえてきそうですが、実はこれでは少し遅いです。

「愛の鐘」は小学生の帰宅時刻に合わせて放送しているもので、放送時刻には、すでに家に到着していなければなりません。

各学校においても、下校時刻後は速やかに下校し、特別な寄り道せず真っすぐ帰宅すること、帰宅後、屋外等で活動をする場合は「愛の鐘」が放送される前に、自主的に帰宅するよう日頃から指導をしています。

日没が早まっていくこの時期。子どもたちが自主的に判断して帰宅する習慣を身につけることができるよう改めてご家庭からの指導をお願いします。

「鳴ったから帰ろう」
ではなく
「鳴る前に帰ろう」

愛の鐘 がなる時間は？

愛の鐘は、季節によって放送時刻が変わります。現在の放送時刻は、平成 24 年 4 月に変更したもので、概ね日没の 30 分から 40 分前を目安として設定しています。

放送時刻

- ◆4月～8月 17時30分
- ◆3・9月 17時
- ◆10・2月 16時30分
- ◆11～1月 16時



学校の特色ある取組を紹介します！

支笏湖小学校 開校 70 周年 ～さらなる飛躍を誓う～

支笏湖小学校では、国立公園内にある小学校としての立地を活かした様々な取組がなされ、地域には魅力ある教育資源や人材も豊富で、とても協力的です。また、総合的な学習の時間「ふるさと教育」と他教科との有機的



関連を図りながら、児童と共に支笏湖小ならではの教育的価値の創造に挑戦しています。

☆野鳥学習（春：野鳥オリエンテーション 野鳥観察週間

通年：野鳥のエサやり）

本年は野鳥絵画展にて、銅賞と優秀作品賞を受賞。

☆ヒメマス学習（春：標章ヒレ切り 秋：受精 通年：ヒメマスのエサやり）

歌手の水森かおりさんと稚魚の放流体験をしました。



向陽台小学校 考える道徳 ～互いに認め合い、よりよい生き方を求める子どもの育成～

向陽台小学校では、平成29・30年度千歳市学校課題研究の指定を受け、「考える道徳～互いに認め合い、よりよい生き方を求める子どもの育成」を研究主題とし、「特別の教科 道徳」のなかで、子どもたち一人ひとりの思いや考えを大切にする授業づくりを進めています。授業における発問の精選、道徳ノートの活用、学習形態の工夫や板書の構造化など、研究仮説に基づきながら実践・検証を全職員で取り組み、指導改善を図ってきました。

このたび、これまでの研究の成果を問い、更なる教育活動の発展・充実を目指して、10月19日に千歳市学校課題研究発表会を開催し、市内・市外から多くの参加者を迎え、たくさんのご教示をいただいたところです。これまで構築してきた多くの実践を糧に、子ども達の向上的変容を今後も追及していきたいと考えています。



北斗中学校 自分の生き方について考える ～福祉の学習を通して～

北斗中学校では、社会福祉協議会の職員を講師にお招きして、3年生の総合的な学習の時間に福祉体験学習を実施しています。

生徒たちは、車椅子の介助、点字の書き方や手話等、ハンディキャップを持つ方々の生活を体験し、福祉や自分の生き方についての学習を深めています。

体験学習後には、自発的に点字によるお礼状を作成したり、ボランティア活動に参加したりするなど、豊かな心で他者のことを考えて行動ができる生徒が育っており、成果を上げています。



～ 家庭教育セミナー「脳を育て、夢をはぐくむ」～

千歳市教育委員会では、千歳市家庭生活宣言推進委員会と共催し、市民に対して家庭教育について考える機会を提供し、家庭や地域の教育力を高めるため、セミナーを開催します。

【日時】平成30年12月9日（日）14：00～

【場所】北ガス文化ホール 2階中ホール

【講師】東北大学加齢医学研究所所長 川島 隆太氏

【内容】子ども達の脳を健康に育み、自分の夢をかなえるため、何をすべきかについて、最先端の脳科学研究・疫学的研究成果をもとに一緒に考えます。

【申込み・問合せ】0123-24-0848（平日8：45～17：15）

WEB申込はこちら ⇒⇒⇒



とぴっくす

千歳市と指宿市の小学生が交流！

8月3日（金）から6日（月）まで、市内の小学6年生16名が姉妹都市の鹿児島県指宿市を訪問しました。姉妹都市提携の翌年から始まった两市小学生の相互派遣交流事業は、今回で24回目となります。指宿市では、そうめん流しや砂むし風呂を体験したほか、ホームステイを通して、指宿市の子どもたちと交流を深めました。

12月には指宿市のみなさんが千歳市を訪れ、スキー体験などを行う予定です。



第23回「ふるさとポケット」を開催しました！

9月23日（日）にグリーンベルトで「ふるさとポケット」を開催しました。より住みよい生涯学習のまちづくりを目指したこのイベントでは、県人会が郷土料理などを販売する「お国自慢味処」、市民活動団体が活動成果の発表や体験催事を行う「展示・体験グループ」、楽器演奏やダンスなどを発表する「ふるさぽくステージ」を行い、たくさんの来場者で賑わいました。



英語暗唱コンテストを開催！

10月20日（土）に北ガス文化ホールで「第34回2018年英語暗唱コンテスト」を開催しました。身近な外国語である英語を通じて、国際理解と国際感覚を養い、国際性豊かな人材を育成することを目的に千歳ユネスコ協会と千歳市教育委員会が主催しています。中学生40名、高校生8名が参加し、千歳高等学校1年生の斉藤果杏さんが会長賞、富丘中学校3年生の穴戸凜さんが教育長賞に輝きました。



東千歳中学校3年生足立さんらが千歳市民文化奨励賞を受賞！

11月2日（金）に開催された「平成30年度千歳市表彰贈呈式」において、各絵画作品展で優秀な成績を収められた東千歳中学校3年生の足立莉菜さん、中山留位さん、2年生の森本桂如さんが「千歳市民文化奨励賞」を受賞しました。



足立莉菜さん応募作品『残雪の丘』
第11回アートクラブグランプリ in SAKAI
「堺市文化振興財団賞」受賞



中山留位さん応募作品『苦小牧埠頭(ヤード)』
第45回我ら海の子展
「山縣記念財団理事長賞」受賞



森本桂如さん応募作品『植樹する人』
平成30年用国土緑化運動・育樹運動
ポスター原画コンクール
「国土緑化推進機構理事長賞」受賞

千歳小学校 ～我が校の図書館～

今年、開校140年を迎える千歳小学校の図書室は、丁寧に床が磨き上げられたホールから階段を上って、職員室の向かい側にあります。図書室の引き戸の右上に開・閉館を知らせる黒塗りの木札が掛かっていて、毎日休み時間になると図書委員がちょっと背伸びをして木札を替えるのです。引き戸の磨りガラスには、ボランティアのお母さんの手による季節ごとの切り絵が貼られ、窓の光が室内に美しく漏れています。カラカラと引き戸を開けると、時の流れが育んだ図書空間が広がり、子どもたちを温かく迎え入れています。壁にしっかりと組み込まれて固定された昔ながらの書架、古い壁にはお母さんたちの手で煉瓦の壁紙が貼られ、手間暇かけた季節ごとの飾りが飾られています。時代は変わっても、いつも変わらずに子どもたちを支える教師と親の思いがいっぱいに詰まった図書室で、子どもたちは伸びやかに読書を楽しみ、日々成長しています。



北進小中学校 ～私たちのP活動～



北進小中学校PTAは、役員会、厚生委員会、教養委員会があります。厚生委員会は、レクリエーション（ミニバレー大会）、卒業を祝う会を企画します。先日のミニバレーボール大会では、サポーターをつけた女性がいったり、回転レシーブをする男性がいったり本格的です。教養委員会は、高等学校の見学、外部講師による学習会を開催します。先日は、北海道千歳高等支援学校を見学し、熱心な作業学習の様子を参観したり、施設を見学したりと充実した活動を展開しています。

編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話：24-0819(直通) ■FAX：27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：http://www.city.chitose.lg.jp/